

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第25週の発生動向

トピックス

手足口病（定点把握対象）：第25週(6/15~6/21)の県内の定点当たり報告数は5.1で、今年初めて流行警報開始レベル(5.0)を超えました。2013年と比較して2週間早くなっています(2014年は警報レベル超えず)。詳細後述。

全数報告の感染症（25週までに新たに届出のあったもの）

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核3例。3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症1例。
4類感染症：報告なし。5類感染症：ウイルス性肝炎1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	20歳代	女	肺結核	咳
			90歳代	男	肺結核	痰
		都城	70歳代	男	結核性胸膜炎	発熱、胸水貯留
3類	腸管出血性大腸菌感染症	高鍋	60歳代	女	無症状病原体保有者	O血清群不明(VT1,2産生)
5類	ウイルス性肝炎	宮崎市	20歳代	男	B型	褐色尿、肝機能異常、黄疸 遺伝子型:C型 ワクチン接種歴なし

定点把握の対象となる5類感染症

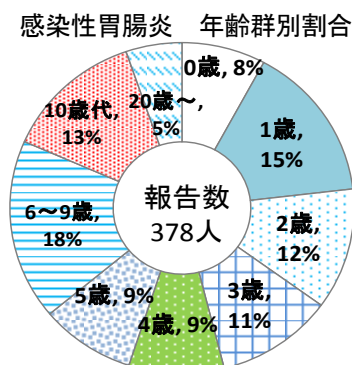
・定点医療機関からの報告総数は981人(定点当たり28.8)で、前週比109%とやや増加した。前週に比べ増加した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナで、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

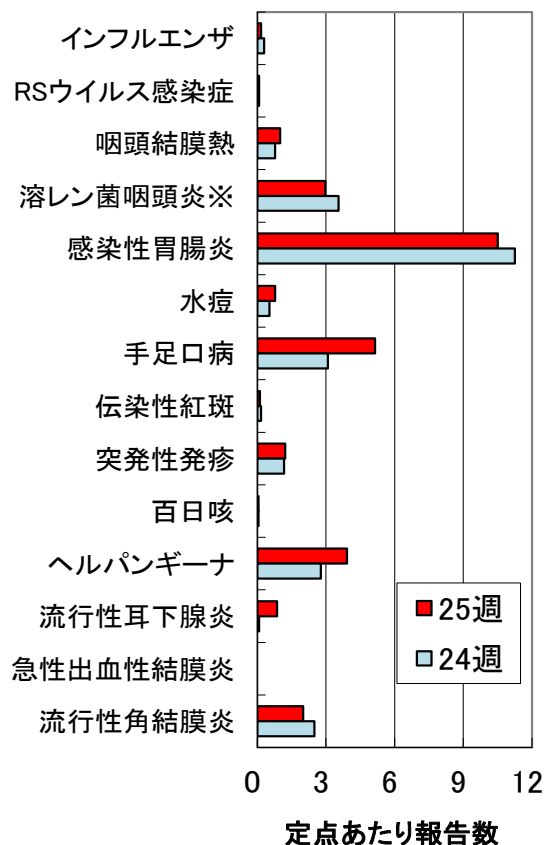
【感染性胃腸炎】

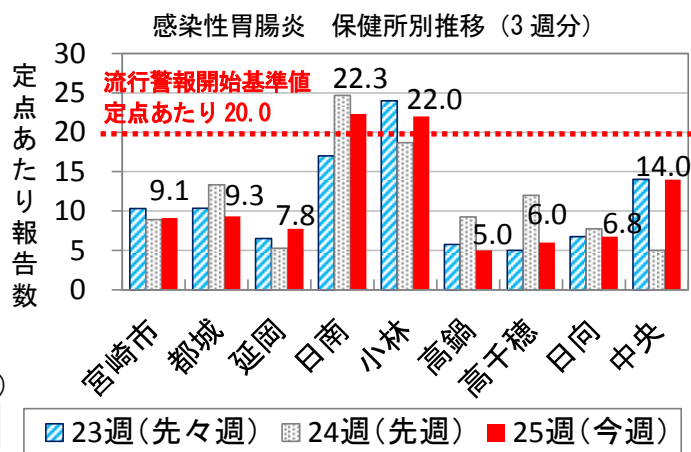
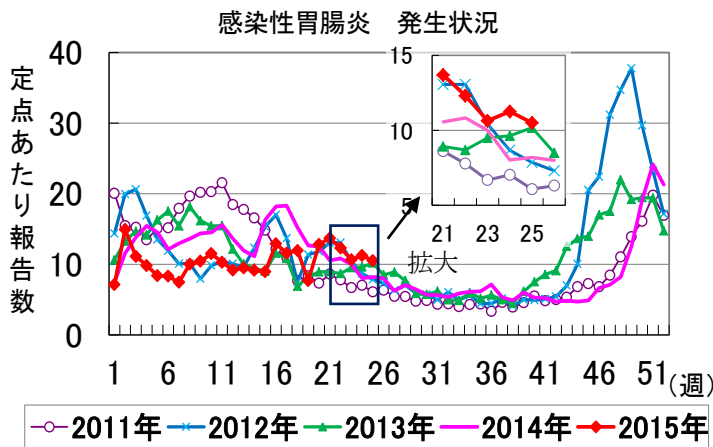
・報告数は378人(10.5)で、前週比93%とやや減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(8.0)の約1.3倍と多い。日南(22.3)、小林(22.0)保健所からの報告が多く、年齢別では1~3歳が全体の約4割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



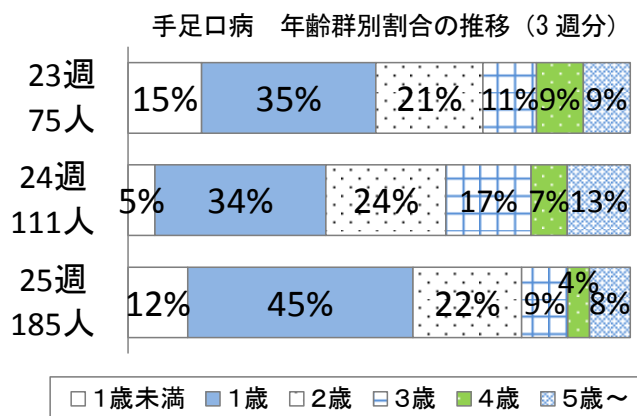
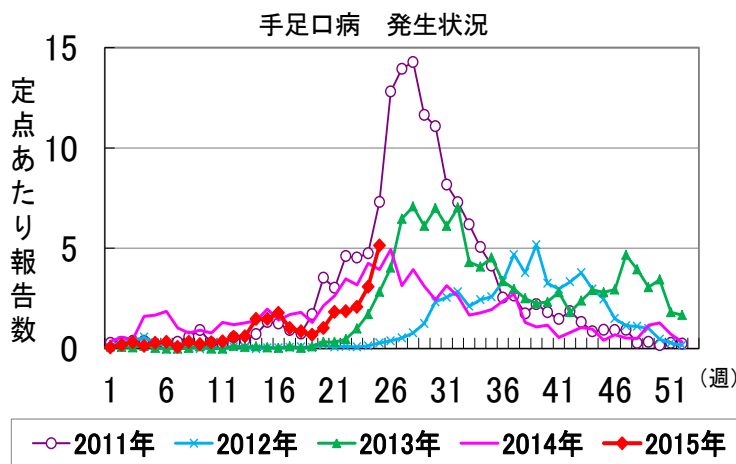
《前週との比較》





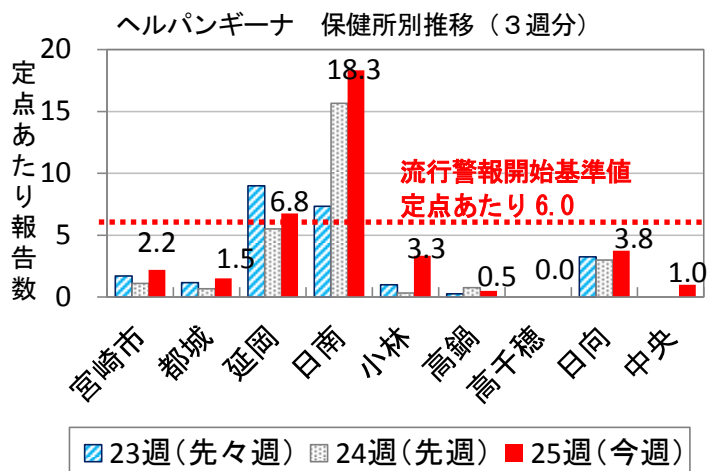
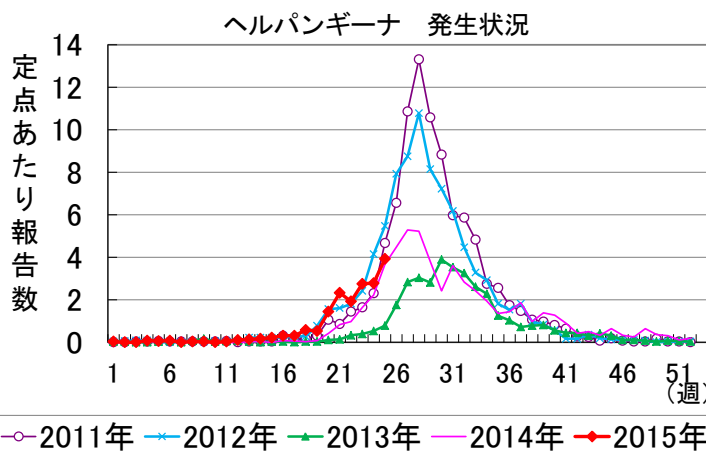
【手足口病】

・報告数は185人(5.1)で、前週比167%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(4.3)の約1.2倍と多い。中央(25.0)、宮崎市(9.5)保健所からの報告が多く、年齢別では1~2歳が全体の約7割を占めた。



【ヘルパンギーナ】

・報告数は141人(3.9)で、前週比141%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(3.9)と同程度であった。日南(18.3)、延岡(6.8)保健所からの報告が多く、年齢別では1~2歳が全体の約6割を占めた。



★流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患	* 流行警報レベル開始基準値 *
宮崎市	手足口病(9.5)	・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
都城	なし	・感染性胃腸炎(20.0)
延岡	ヘルパンギーナ(6.8)	・手足口病(5.0)
日南	感染性胃腸炎(22.3)、ヘルパンギーナ(18.3)	・ヘルパンギーナ(6.0)
小林	感染性胃腸炎(22.0)、流行性耳下腺炎(5.7)	* 流行注意報レベル基準値 *
高鍋	なし	・流行性耳下腺炎(3.0)
高千穂	なし	
日向	なし	
中央	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(11.0)、手足口病(25.0)	

📊 全国第 24 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 24 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	398 例				
3類感染症	細菌性赤痢	3 例	腸管出血性大腸菌感染症	56 例	腸チフス	1 例
	パラチフス	2 例				
4類感染症	E型肝炎	1 例	A型肝炎	3 例	重症熱性血小板減少症候群	4 例
	つつが虫病	5 例	デング熱	5 例	日本紅斑熱	5 例
	レジオネラ症	23 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	14 例	ウイルス性肝炎	5 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	11 例
	急性脳炎	3 例	クリプトスポリジウム症	1 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2 例	後天性免疫不全症候群	18 例	ジアルジア症	1 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	34 例
	水痘（入院例）	5 例	梅毒	27 例	播種性クリプトコックス症	1 例
	破傷風	2 例	風しん	1 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 111%と増加した。前週と比較して増加した主な疾患は手足口病と伝染性紅斑で、減少した主な疾患はインフルエンザと水痘であった。

手足口病の報告数は 8,421 人(2.7)で前週比 143%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(1.4)の約 1.9 倍と多い。徳島県(13.8)、香川県(8.5)からの報告が多く、年齢別では 1~2 歳が全体の約半数を占めた。

伝染性紅斑の報告数は 2,894 人(0.92)で前週比 142%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(0.47)の約 2.0 倍と多い。滋賀県(2.6)、福島県(2.5)、埼玉県(2.3)からの報告が多く、年齢別では 4~6 歳が全体の約半数を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2015年 第25週(6月15日～6月21日)

疾病名		第24週	第25週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	18	10	1	7		1	1				
	定点あたり	0.31	0.17	0.06	0.70	0.00	0.20	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	3	3		1			1			1	
	定点あたり	0.08	0.08	0.00	0.17	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	28	36	7	6	3	4	1	7		8	
	定点あたり	0.78	1.00	0.70	1.00	0.75	1.33	0.33	1.75	0.00	2.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	128	107	28	11	19	15	1	14		8	11
	定点あたり	3.56	2.97	2.80	1.83	4.75	5.00	0.33	3.50	0.00	2.00	11.00
感染性胃腸炎	報告数	405	378	91	56	31	67	66	20	6	27	14
	定点あたり	11.25	10.50	9.10	9.33	7.75	22.33	22.00	5.00	6.00	6.75	14.00
水痘	報告数	19	28	8	4	5		7	1		1	2
	定点あたり	0.53	0.78	0.80	0.67	1.25	0.00	2.33	0.25	0.00	0.25	2.00
手足口病	報告数	111	185	95	9	12	11	10	11		12	25
	定点あたり	3.08	5.14	9.50	1.50	3.00	3.67	3.33	2.75	0.00	3.00	25.00
伝染性紅斑	報告数	6	4			1	1				2	
	定点あたり	0.17	0.11	0.00	0.00	0.25	0.33	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
突発性発しん	報告数	42	44	8	6	8	3	7	3		7	2
	定点あたり	1.17	1.22	0.80	1.00	2.00	1.00	2.33	0.75	0.00	1.75	2.00
百日咳	報告数	2	2	2								
	定点あたり	0.06	0.06	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	100	141	22	9	27	55	10	2		15	1
	定点あたり	2.78	3.92	2.20	1.50	6.75	18.33	3.33	0.50	0.00	3.75	1.00
流行性耳下腺炎	報告数	3	31	5	1	3		17	1		2	2
	定点あたり	0.08	0.86	0.50	0.17	0.75	0.00	5.67	0.25	0.00	0.50	2.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	15	12	10	2							
	定点あたり	2.50	2.00	3.33	1.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2015年第1週～25週)

2類感染症	結核	101例(3)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	8例(1)				
4類感染症	A型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	4例	つつが虫病	3例
	日本紅斑熱	5例	マラリア	1例	レジオネラ症	1例
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	4例(1)	急性脳炎	2例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例	後天性免疫不全症候群	8例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	2例	水痘(入院例)	1例
	梅毒	3例	播種性クリプトコックス症	2例	破傷風	5例

()内は今週届出分、再掲